

Mr. Bassman (ベースマン列伝) vol.65

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変…。だが、黙々とベースをウオーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥ぐともの凄いな演・名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

Art Davis【アート・デイヴィス】

Profile



Photo provided by Roberto Magris

1934年12月5日、米国ペンシルベニア州ハリスバーグ生まれ。本名はArthur David Davis。5歳の時にピアノを始め、楽器をチューバに変更後、高校時代にベースに転向。フィラデルフィア・オーケストラのロジャー・スコットにベースを師事。17歳の時に白人で構成されたハリスバーグ・シンフォニー・オーケストラに参加。53年に奨学金を得て、ジュリアード音楽院とマンハッタン音楽学校で学び、ハンター・カレッジを卒業。その後、ジャズに限らずポップスのアーティスト、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロサンゼルス・フィルハーモニック等とセッションやレコーディングを行う。ジャズ・シーンではデジー・ガレスピー、マックス・ローチ等のレコーディングに参加。62年から63年までNBCオーケストラ。64年から69年までウェスティンハウス・テレビジョン・オーケストラに参加。また、64年にはジョン・コルトレーンの名盤「至上の愛」のレコーディングにゲスト参加。75年に『The Arthur Davis Method for Double Bass』を出版。オレンジ・コースト・カレッジの教授も務め、81年にはニューヨーク大学から臨床心理学で博士号を取得。86年にカリフォルニアに移住し、心理学を教えながらジャズの演奏も続ける。89年に来日を果たす。2007年7月29日、心臓発作により息を引き取る。享年72歳。

“ドクター・アート”と称された知性も感じさせる名ベースマン

名ジャズ・レーベル「Interplay」を主宰し、アートのアルバム『リエマージェンス』のプロデュースを手掛けた妙中俊哉さんよりコメントを頂いた。「アート・デイヴィスは、その人柄を一言で言うならインテリジェントな人格者。その落ち着いた話し方は知性を強く感じさせられる人であった。彼とはジャズ・プロデューサーのフレッド・ノースウォーシーから紹介されて1979年のジョー・オーバニー・トリオとホレス・タプスコット・トリオの両セッションにドラムスのロイ・ヘインズと共に来もらった。ビバップのオーバニーと前衛的なタプスコットの両セッションの彼のベースプレイはそれぞれ見事に調和したものとなっており、彼のヴァーサタイルな才能がよくわかる。そして翌年に彼のリーダー・アルバムをインタープレイで制作することにつながったのである」。また、アートにとって生涯最後のレコーディングとなったアルバム『カンサス・シティ・アウトバウンド』のリーダー、イタリア出身のピアノの名手ロベルト・マグリスさんからもコメントを頂いた。ロベルトさんのコメントは別途「P29」に掲載。

AD's Great Albums

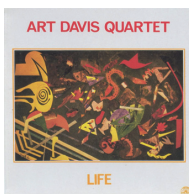
3枚のリーダー・アルバムの他、サイドマンとして、デジー・ガレスピー、マックス・ローチ、ジョン・コルトレーン、フレディ・ハバード等のアルバムでの好演も聴いて欲しい。



リエマージェンス アート・デイヴィス

(Interplay : IP-7728) [Import LP]

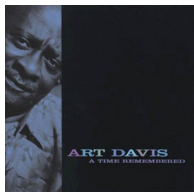
1980年にインタープレイより発表されたアート・デイヴィスの1stリーダー・アルバム。ヒルトン・ルイス、グレッグ・バンドとのトリオ作品。5曲収録。



ライフ アート・デイヴィス

(Soul Note : SN-121143) [Import CD]

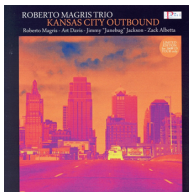
アート・デイヴィスの2ndリーダー・アルバム。1985年のファラオ・サンダース、ジョン・ヒックス、アイドリス・ムハマッドとのNYでのライブを収録。



ア・タイム・リメンバード アート・デイヴィス

(Jazz Planet : JPCD-4001) [Import CD]

ラヴィ・コールトレン、ハービー・ハンコック、マーヴィン・スミスという強力メンバーと吹き込んだアート・デイヴィスの3rdリーダー・アルバム。



カンサス・シティ・アウトバウンド ロベルト・マグリス

(JMood : JM-000) [Import CD]

イタリア出身のピアノの名手ロベルト・マグリスの2007年7月録音作品。アート・デイヴィスにとって生涯最後のレコーディングとなったアルバム。